以下の設定はSAN-NET のみでなく、Internet Explorer 全体に影響を及ぼします。 設定の変更はお客様の自己責任によって実施して頂きますようお願い致します。 また、この設定変更によって生じた現象に対して、弊社では一切の責任を負いかね ますので、その旨ご了承下さい。

SAN-NET をInternet Explorer(下の例はInternet Explorer11)で表示した際に、 下のように表示される場合

表示例1



・表示例2



①メニューから[ツール]→[インターネットオプション]を開きます。

about:blank	♀ ♂ 🧟 空白のページ	×
ファイル(E) 編集(E) 表示(Y) お気に入り(A)	ッール(I) ヽレレプ(出)	
	閲覧履歴の削除(D) InPrivate ブラウズ(I) 追跡防止を有効にする(<u>K</u>) ActiveX フィルター(X)	Ctrl+Shift+Del Ctrl+Shift+P
	接続の問題を核正(<u>C</u>) 最終閲覧セッションを再度開く(<u>S</u>) スタート メニューにサイトを追加(<u>M</u>)	
	ダウンロードの表示(<u>N</u>) ポップアップ ブロック(<u>P)</u> SmartScreen フィルター機能(<u>T)</u> アドオンの管理(<u>A</u>)	Ctrl+J
	互换表示設定(B)	
	このフィードの受信登録(<u>F</u>) フィード探索(<u>E</u>) Windows Update(<u>U</u>)	¢
	パフォーマンス ダッシュボード F12 開発者ツール(<u>L)</u>	Ctrl+Shift+U
	Web サイトの問題を報告(<u>R</u>) インターネット オプション(<u>O</u>)	

②[詳細設定] タブの[セキュリティ]で[TLS 1.0 を使用する]にチェックした状態で [OK]ボタンをクリックしてください。

(Internet Explorerのバージョンやお客様のご利用状況により[詳細設定]タブの [セキュリティ]の表示内容が下図と異なる場合がございます。 [TLS 1.0 を使用する]以外の項目につきましては、お客様のご利用環境に合わせ てください。)

インターネット オプション 🔋 💌		
全般 セキュリティ ブライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定		
設定		
▼ DOM ストレージを有効にする		
✓ Internet Explorer でアクセスしたサイトに Do Not Track 要求を送 □ poor of fell poor たびコートリント クロピケート せった 思った。		
✓ POST の法信か POST を許可しないソーンにリタイレンFed に場合に; ■ SmartScreen フノルター機能を有効にする		
Shidi Soleen パッククライがある		
✓ SSL 3.0 を使用する		
▼ TLS 1.0 を使用する		
▼ ILS 1.1 の使用		
✓ TLS 1.2 の使用 ■ オンラインからの内容の感知に沿立てみため、メエル思議を有効にする*		
▼ サーバーの証明書失効を確認する*		
◎ ダウンロードしたプログラムの署名を確認する		
*コンピューターの再起動後に有効になります		
詳細設定を復元(R)		
Internet Explorer の設定をリセット		
Internet Explorer の設定を既定の状態にリセットします。 リセット(S)		
ブラウザーが不安定な状態になった場合にのみ、この設定を使ってください。		